

証券コード 4064



第126期 中間期 株主通信

2024年4月1日 ▶ 2024年9月30日

 **日本カーバイド工業株式会社**
NIPPON CARBIDE INDUSTRIES CO., INC.



私たちのミッション

技術力で価値を創造し、
より豊かな社会の発展に貢献する。

私たちは、お客様からのニーズを原点に、培ってきた技術を究め、融合させることで、価値ある製品を広く提供し、持続可能な社会の実現に貢献し続けていきます。

私たちのビジョン

キラリと光る、価値ある企業グループ

社員一人ひとりが自分の仕事に自信と誇りを持ち、成長を実感しながら、関わる全ての人の満足度を追求することで、社会においてキラリと存在感が光る、価値ある企業を目指します。

私たちが大切にしている価値観

誠実であること
Sincerity

奉仕すること
Service

協力すること
One-NCI

創造すること
Innovation



代表取締役社長
杉山 孝久

「キラリと光る、価値ある企業グループ」を目指して

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

ここに、当社グループ第126期中間連結会計期間（2024年4月1日から2024年9月30日まで）の事業概況につきまして、ご報告申し上げます。

当中間連結会計期間における世界経済は、全体的に緩やかな成長となりましたが、欧州や中東における地政学リスクの高まりや原燃料価格の高止まり等もあり、依然として先行き不透明な状況が続きました。

当社グループの事業では、電子・機能製品は、エレクトロニクス市況の緩やかな回復に伴い、半導体及び電子部品向け製品の出荷が増加しました。フィルム・シート製品は、欧米や中国での自動車販売台数の増加により、ナンバープレート向け製品の出荷が増加したことに加え、為替が損益へプラスに影響しました。建材関連は、原材料価格の上昇や在庫削減等により収益性が悪化しました。エンジニアリングは、製鉄分野向けカーボンニュートラルトランジション設備の受注増により売上が増加しました。

このような状況のもと、当社グループの当中間連結会計期間の経営成績は、売上高は前年同期比2,037百万円（9.5%）増の23,370百万円、営業利益は前年同期比782百万円

（162.7%）増の1,263百万円、経常利益は前年同期比354百万円（34.5%）増の1,381百万円、親会社株主に帰属する中間純利益は前年同期比60百万円（7.7%）増の847百万円となりました。

当中間期の配当につきましては、2024年11月8日開催の取締役会において、1株当たり40円と決議いたしました。

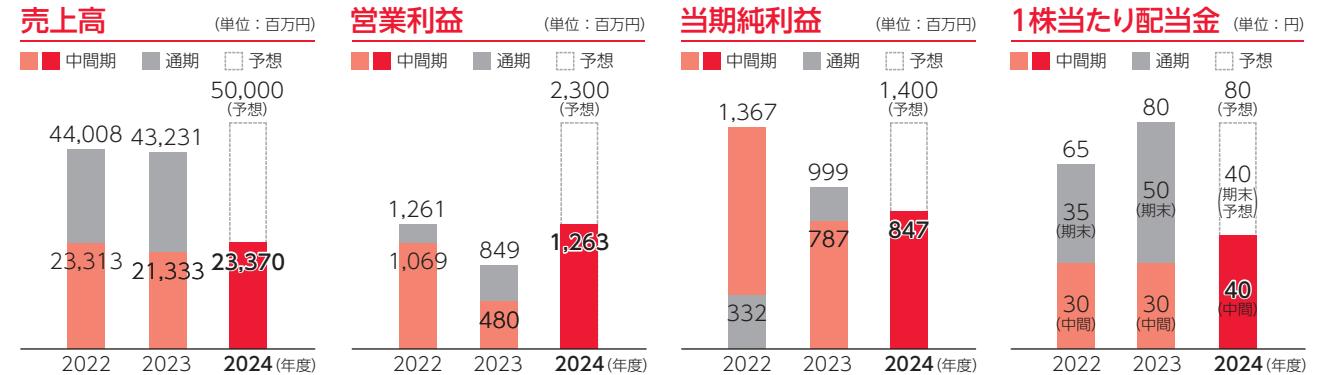
当社グループの通期の見通しにつきましては、売上高は、前回予想並みですが、営業利益は上期からのエレクトロニクス市況の緩やかな回復が継続し、前回予想を上回る見込みであります。また、経常利益及び親会社株主に帰属する当期純利益は、為替差益の計上により、前回予想を上回る見込みであります。

このような状況を踏まえ、2024年5月13日に公表いたしました通期業績予想を修正し、売上高50,000百万円、営業利益2,300百万円、経常利益2,600百万円、親会社株主に帰属する当期純利益1,400百万円といたします。

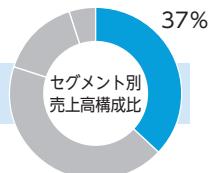
株主の皆様におかれましては、今後ともより一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2024年12月

業績ハイライト

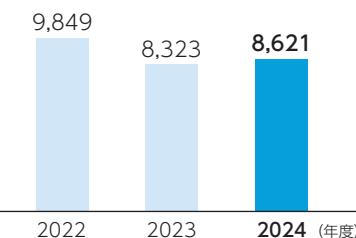


電子・機能製品



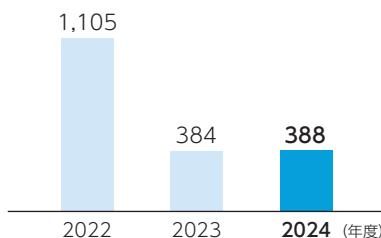
売上高 (中間期)

86億21百万円



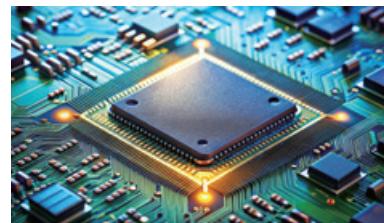
営業利益 (中間期)

3億88百万円



主な取扱製品

機能化学品／機能樹脂／電子素材



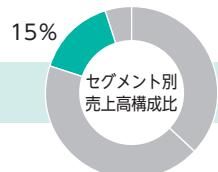
電子・機能製品の用途イメージ

当該事業の主な取扱製品は、ファインケミカル製品や医薬品原薬、医農薬中間体などの機能化学品、粘・接着剤などの機能樹脂、半導体用金型クリーニング材やセラミック基板などの電子素材であります。

機能化学品は、お客様都合による在庫調整により農薬向け製品の出荷が減少したものの、エレクトロニクス市況の緩やかな回復に伴い、半導体及び電子部品向け製品の出荷が増加し、前年同期比増収増益となりました。機能樹脂は、原材料価格の上昇に応じた製品価格の改定により損益へプラスに影響しましたが、光学関連分野向け粘・接着剤の国内向け出荷が減少し、前年同期比減収減益となりました。電子素材は、エレクトロニクス市況の緩やかな回復に伴い、半導体及び電子部品向け製品の出荷が増加し、前年同期比増収増益となりました。

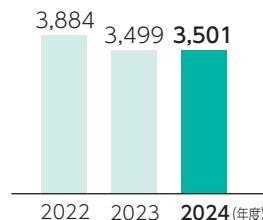
以上により、当セグメントの売上高は前年同期比298百万円 (3.6%) 増の8,621百万円、セグメント利益は前年同期比3百万円 (1.0%) 増の388百万円となりました。

建材関連



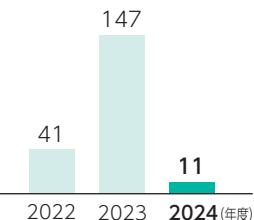
売上高 (中間期)

35億1百万円



営業利益 (中間期)

11百万円



主な取扱製品

ビル・住宅用アルミ建材／内装建材用プラスチック押出製品

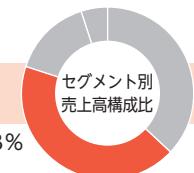
当該事業の主な取扱製品は、住設用樹脂押出成形品や戸建住宅用アルミ手すり、マンション向け高強度・高機能アルミ手すりなどのアルミ建材であります。

省エネ補助金制度による住宅リフォーム需要増により住宅向け樹脂押出成形品の出荷が増加したものの、アルミ地金価格高騰による原材料価格の上昇に加え、在庫削減による損益へのマイナス影響により、当セグメントの売上高は前年同期比1百万円 (0.1%) 増の3,501百万円、セグメント利益は前年同期比135百万円 (92.0%) 減の11百万円となりました。



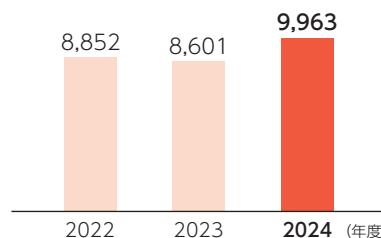
高強度・高機能手すり

フィルム・シート製品



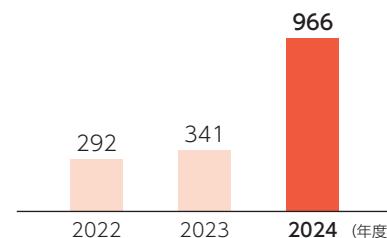
売上高 (中間期)

99億63百万円



営業利益 (中間期)

9億66百万円



主な取扱製品

フィルム／ステッカー／再帰反射シート*

*再帰反射とは、入射した光が再び入射方向へ帰る反射現象をいいます。



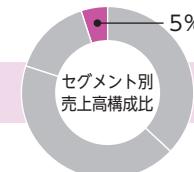
3Dソフトエンブレム (再帰反射/内照発光式)

当該事業の主な取扱製品は、フィルム、ステッカー、再帰反射シートなどであります。

フィルムは、国内向け屋外看板用製品の出荷が増加したものの、原材料価格上昇分の製品価格への転嫁が遅れたことにより損益へマイナスに影響し、前年同期比増収減益となりました。ステッカーは、タイでの二輪車向け3Dエンブレム等の高付加価値製品の出荷が増加すると共に、インドネシアでの二輪車生産台数の増加により二輪車向け製品の出荷が増加し、前年同期比増収増益となりました。再帰反射シートは、欧米や中国での自動車販売台数の増加によりナンバープレート向け製品の出荷が増加したことに加え、為替が損益へプラスに影響し、前年同期比増収増益となりました。

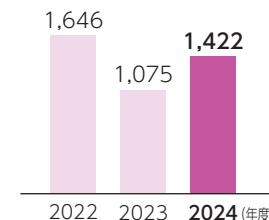
以上により、当セグメントの売上高は前年同期比1,361百万円 (15.8%) 増の9,963百万円、セグメント利益は前年同期比625百万円 (183.5%) 増の966百万円となりました。

エンジニアリング



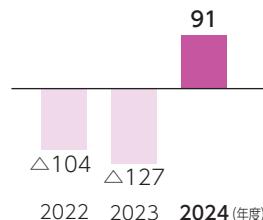
売上高 (中間期)

14億22百万円



営業損益 (中間期)

91百万円



主な取扱製品

産業プラントの設計・施工・設備

当該事業の主な内容は、鉄鋼・化学・電力・環境分野の産業プラントの設計・施工・設備やカーボンニュートラルトランジション設備などであります。

製鉄分野向けカーボンニュートラルトランジション設備の受注増により売上が増加したことに加え、調達効率化等のコストダウンが損益へプラスに影響し、当セグメントの売上高は前年同期比347百万円 (32.3%) 増の1,422百万円、セグメント利益は91百万円 (前年同期は127百万円のセグメント損失) となりました。



粉体専用実験工場

北日本放送「Netzモノヅクリのその先へ」で当社早月工場が紹介

2024年6月に放送された、富山の「ものづくり」を応援する北日本放送（KNBテレビ）の15分番組「Netzモノヅクリのその先へ」（毎月第3日曜日11：45～12：00放送）で、当社早月工場が紹介されました。番組内では再帰反射シートや半導体用金型クリーニング材、食器用メラミン樹脂などの製造工程や検査工程、応用技術などが紹介されたほか、当社社長へのインタビューが放送されました。

YouTube KNB公式チャンネルでも番組が配信されています。皆様におかれましても、二次元コードよりアクセスいただき、ぜひご覧ください。



コーポレートサイトにて個人投資家向けページを立ち上げ

個人投資家の皆様に「当社のことをもっと知ってもらいたい」という思いから、2024年11月より新たに個人投資家向けページを当社コーポレートサイト内で立ち上げました。

事業規模や当社製品のことがひと目で分かるコンテンツや中期経営計画の概要・進捗状況をシンプルにまとめた情報などを掲載しておりますので、ぜひご覧ください。

アクセスはこちらから ▶▶▶



お知らせ

地球環境等への配慮に加え、ステークホルダーの皆様によりわかり易い「株主総会招集ご通知」とするため、前回まで株主総会終了後にお届けしておりました「株主通信」は、「株主総会招集ご通知」に統合させていただきます。なお、中間期の株主通信は、引き続き発行する予定です。

栃木県知事より感謝状 ～高齢者及び新入学児童用に反射シールを寄贈～

「地域社会との共存共栄」の取組みの一環として、安全確保・交通事故防止に役立ててもらおうと、当社は毎年反射シールを栃木県に寄贈しています。2024年度は高齢者及び交通安全啓発活動用に自転車用高輝度反射シールを10,000セット、県内すべての新入学児童用にランドセル用高輝度反射シールと自転車用高輝度反射シールを20,000セット寄贈しました。

これに対し、栃木県知事より感謝状が贈呈されることになり、2024年7月に贈呈式が栃木県公館で行われ、今回感謝状を授与された65の個人・団体を代表して、当社三宅弘執行役員が福田富一栃木県知事より感謝状を受け取りました。



会社情報

会社の概要 (2024年9月30日現在)

社名	日本カーバイド工業株式会社
設立	1935年（昭和10年）10月
資本金	7,797,898,752円
本社	東京都港区港南二丁目16番2号
営業所	大阪
工場	富山県：魚津市、滑川市 京都府：向日市
研究所	富山県：滑川市
従業員数	連結 3,359名 単体 520名

役員 (2024年9月30日現在)

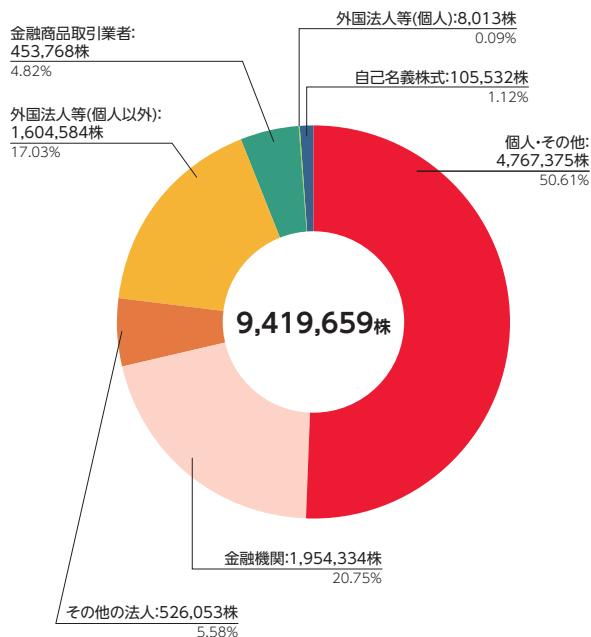
代表取締役社長	杉山 孝久
代表取締役	井口 吉忠
取締役	長谷川 幸伸
取締役	横田 祐一
取締役（社外）	吉岡 早月
取締役（社外）	門向 裕三
常勤監査役（社外）	林 文明
常勤監査役（社外）	澤田 征洋
監査役（社外）	江見 睦生

株式情報

株式の状況 (2024年9月30日現在)

発行可能株式総数 12,000,000株
発行済株式の総数 9,419,659株
株主数 11,049名 (前期末比160名増)

株主 (所有者別株式分布状況)



株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
株主名簿 管理人 特別口座の 口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 電話 0120-232-711 (通話料無料) 郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
公告方法	電子公告 公告掲載URL https://www.carbide.co.jp/ ただし、事故その他やむを得ない事由によって 電子公告による公告をすることができない場合 は、日本経済新聞に掲載いたします。

【ご注意】

- 株主様の住所変更、買取請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

当社ホームページのご案内▶

ホームページアドレス

<https://www.carbide.co.jp/>



表紙写真 当社グループの世界各国の仲間たち



日本カーバイド工業株式会社

〒108-8466 東京都港区港南二丁目16番2号
Tel 03 (5462) 8200 Fax 03 (5462) 8244

UD
FONT

